

巨福寺だより

第8号 平成26年 正月

瑞 祥 新 春 身 延 山 久 遠 寺 特 集

身延山久遠寺は、日蓮宗総本山で現在の山梨県南巨摩郡身延町にあり、富士川に沿う山間の厳粛な場に位置し、宗祖日蓮大聖人棲神(せいしん:魂の住む)の霊場とされ、御草庵跡、祖廟、大本堂、祖師堂、奥之院思親閣、七面山敬慎院、宿坊等が数々点在する信仰のお山で、祖山とも称する。



久遠寺大本堂

日蓮聖人は文永 11年の春、佐渡流罪を赦免された後再び鎌倉に戻り、改めて幕府に諫暁を行ったが、時の権力者たちはこれにも耳を傾けず、ついに聖人はかねて

より波木井(現身延町)の領主南部実長公から招きのあった身延山へ赴くこととなり、実長公の構えた三間四面の草庵に住まれ、同年6月17日に身延山の霊場を開創された。(開闢会:かいびやくえ)

ほどなくして同年10月、聖人が本年中に起こると予言した他国侵逼の難が的中し、蒙古の大軍が来襲してきたが、幸いにも神風をはじめとする幸運な状況が重なって蒙古軍は撤退し、我が国は難を逃れた。この事から幕府は日蓮聖人を見直し、鎌倉召還を求め、聖人は身延の地をお気に召され、広宣流布の拠点とし、法華經の教えを弘め信徒を教化し、弘安5年(1282)聖人61歳のご入



身延山五重塔(H21完成)

滅に至るまでの9年間、身延の地にて法華經にその身を捧げた。また聖人自身、『波木井殿御書』の一説に「日蓮が墓をば身延山に建てさせ給え、未来際までも心は身延山に棲むべく候、日蓮が弟子檀那等は此の山を本として参るべし。」とおっしゃられており、後世に伝える聖地となっている。



身延山菩提梯(287段)

昨年6月1日・2日、巨福寺檀信徒13名と共に身延山久遠寺参拝に行ってきました。まず身延山祖師堂にてご開帳・ご祈願をして頂き、その後、日蓮聖人のご真骨がお祀りされている御真骨堂内部を拝ませて頂きました。夜は伊豆長岡温泉にて宿泊・大宴会。2日目には先代住職の娘さんの

道子さんの嫁ぎ先で、日頃より巨福寺がお世話になっている、静岡県牧之原市の法光寺(小屋嘉正上人 住職)を参拝し、と



久遠寺祖師堂前にて



静岡県法光寺本堂前にて



とても有意義な旅行となりました。

大覚大僧正第650遠忌大法要

昨年4月15日、日蓮宗大本山の1つ京都・妙顕寺にて、備前・備中・備後における日蓮宗布教の祖であり、巨福寺開山の祖でもある大覚大僧正妙実上人の第650遠忌にあたり、檀信徒3名と共に、荘厳かつ厳肅な雰囲気の中、

岡山県各寺院参集のもと、妙顕寺本堂にて厳修された大法要に参拝させて頂きました。



日蓮宗岡山県宗務所主催 檀信徒研修道場

10月7日、巨福寺と同じ組寺でもある新見市哲西町の妙傳寺(水地住職)にて檀信徒研修道場が開催され、巨福寺檀信徒5名と共に参加し、お経練習や写教、仏事所作などを勉強してきました。



その他の出来事

昨年も9月21日に、毎年恒例第4回巨福寺お月見会が開催され、約20名と共に秋の夕涼みの宴を楽しみました。また今回は、巨福寺檀家でもある大槻和男さんに、小椋佳などのギター弾き語りを披露して頂きました。



先代住職は参！？

巨福寺の先代住職・藤沢玄唱上人は今、特別養護施設 白和荘に入っておりますが、齢93歳になられた今も、歌を歌いながら、ご夫婦共に元気に過ごしております。目指せ！100歳！！



今後の行事予定

- ・1月14日(14時) お焚き上げ
- ・2月3日(14時) 節分会
- ・2月15日(14時) 釈尊涅槃会
- ・3月18~24日 春のお彼岸
- ・4月29日(10時) 花まつり 及び護持会総会

平成25年12月 撮影